



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

2021-2022年度 9月号



専修寺(真岡)山門と如来堂【国指定重要文化財】

真宗高田派の本寺として、1226年頃建立された。山門、如来堂は1700年初頭に建立された。山門は如来堂の正面にある2階建の門。2階の周囲に縁と高欄をつけている「楼造」形式。如来堂は、入母屋造り、正面に千鳥破風と呼ばれる大きな三角形の破風をのせ、三手先詰組という複雑な構造になっている。

Contents

ガバナーメッセージ.....	2	新入会員紹介.....	8
ロータリーの友月間に因んで.....	3	2021-2022 地区内主要行事.....	8
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより.....	4	熱海豪雨災害支援金送金報告.....	9
「蔵の街とちぎローターアクトクラブ認証伝達式」報告.....	6	米山記念奨学会およびロータリー財団功労者.....	9
認証状伝達式を終えて.....	7	ハイライトよねやま.....	10
7月会員数報告.....	7	2024-25年度 ガバナー候補者推薦について.....	12



基本的教育と識字率向上月間、 ロータリーの友月間に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

いし だ じゅん いち
石 田 順 一 (真岡ロータリークラブ)

めずらしく早起きした朝、ふと庭をみると、草花についた朝露が白くひかっていました。夜の冷たい空気により水滴が白くなって見える季節を、二十四節気では「白露」というそうです。日中はまだまだ残暑が続いていますが、秋は確実に深まって行くのです。

さて、9月は、基本的教育と識字率向上月間、日本のロータリーの友月間です。教育は幸福の主要構成要素とも言われています。中でも識字は人類にとって文化の基礎であると思います。我々が当たり前と思える識字は先人の知恵と努力、苦労を礎に築かれた教育の賜です。かつて、大東亜戦争後GHQがローマ字導入を考えていましたが、日本人の識字率の高さに断念したと言われています。

識字率はそれぞれの国の文化さえ脅かす可能性があったのです。

現在、我が国の識字率はほぼ100%で、読み書きに不自由を感じている方はあまりいません。今の日本は、文字だけでなく、映像、音声が我々を取り囲み、情報過多の時代に生きてます。成熟社会にとっては情報を的確に判断し、翻弄されることがないように、生活していかなければならないと思います。

ロータリーには「4つのテスト」があります。生き方の手引きとしてこれほど相応しいものはないと改めて感じます。

世界をみると、アフリカ大陸にはまだまだ識字率が50%以下の国が多く存在してます。識字率の低い国は往々にして発展途上国です。識字率の水準は国民の幸福度と一致するようです。

サムFオオリ(ウガンダ:カンパラRC)氏は2018年に2人目のアフリカ大陸出身のRI会長になるはずでした。彼の急逝によって叶わなかったのですが、ウガンダの識字率は73.3%とされています。生きていたら、きっとアフリカの識字率向上に力を注いだでしょう。私たちロータリアンは7つの重点分野のこの分野にも積極的に支援すべきものと感じました。

さらに、今月はロータリーの友月間でもあります。ロータリーの友誌も表紙が変わり、横組みに大きくROTARYのロゴが入りました。

皆様が革新的なアイデアを出し合って実施した活動を投稿して頂き、皆様のリーダーシップ、職業人としての成長をアピールして頂ければ、仲間を増やす手段となるような気が致します。



友月間に因んで

ロータリーの友 地区代表委員

小林 勇 一 郎 (真岡RC)

2015-16年度から国際ロータリー(RI)の特別月間が変更になり、4月の『雑誌月間』がなくなりました。そのため、ロータリーの友委員会ならびに同理事会では、あらためて『ロータリーの友』について考える時間を作ってくださいという思いで9月を『ロータリーの友月間』と定めました。9月の『ロータリーの友月間』と10月の『米山月間』が、日本独自の月間となります。

『ロータリーの友』は1953年1月に創刊しました。その前年1952年7月、戦後1地区だった日本のロータリーが、東西2地区に分割されました。地区が分かれてもつながっていたいとの思いから、両地区の懸け橋として『ロータリーの友』が誕生しました。『ロータリーの友』は日本のロータリアンの絆の証なのです。

最初は全ページ横組み(横書き)でスタートしましたが、1972年1月号から現在のように、横組み(横書き)、縦組み(縦書き)と分かれるようになりました。現在、横組みには、国際ロータリー関連、ロータリー全体で力を入れている活動、特集など、国際ロータリーの方向性を意識した記事が中心となります。縦組みには、ロータリーの友が創刊された時の目的でもある、日本のロータリアンの間で情報を共有したいという気持ちを表す内容の投稿記事が中心となります。

1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリー(RI)の公式地域雑誌としての役割を担うことになりました。日本のロータリアンは、国際ロータリーから指定されているロータリー地域雑誌『ロータリーの友』または『ROTARY』を購読する義務があります。

雑誌『ロータリーの友』の内容の50%はロータリーまたはロータリー関連の記事であること、年に6回は発行され、24ページ以上であること、7月号の表紙に新年度の国際ロータリー会長の写真を掲載すること、国際ロータリーから指定された記事(「RI指定記事」と呼び記事のタイトル周りにロゴを入れています)を転載することなどの義務があります。

毎月掲載される記事としては、RI会長メッセージ、財団管理委員長からのメッセージ、次回国際大会の案内があります。ロータリークラブの会員として、全世界で共通して認識してほしいことなので、ぜひ目を通してください。また、RI指定記事以外にも、

『ROTARY』の記事の中から、世界のロータリアンの活動の様子を伝えているRotary projects around the globeを毎月掲載しています。

投稿記事が中心となる縦組みには、友愛の広場、私の一冊、ロータリー・アット・ワークなど、さまざまな投稿コーナーがあります。投稿規定は横組みの最終ページに掲載してあります。皆様の投稿をお待ちしております。

『ロータリーの友』の購読は、ロータリアンの3大義務の一つです。昨年度のロータリーの友に関するアンケートの結果(2020-2021年度ガバナー月信Vol.8に掲載)、毎月読んでいる会員が69%、毎月ではないが読んでいる会員が18%となりました。読まない理由としては読む習慣がないが48%と最も高く、時間の余裕がないと業務多忙が合わせて38%でした。『ロータリーの友』をよく読んでいる会員は、参考になる、役立っていると回答しています。どれか1つの記事だけでもかまいません、まずは読んでみましょう。きっと役に立つことでしょ。ぜひ、「読む習慣化」のスタートとして下さい。時間の余裕がない、業務多忙な会員の方々、ロータリーの友電子版はいかがでしょうか?雑誌の『ロータリーの友』を持ち歩かなくてもスマホやタブレットがあれば、ちょっとした隙間時間を利用して読むことができます。また、紙媒体の『ロータリーの友』誌の受け取りが遅れても電子版であれば、毎月1日に最新号を読むことができます。電子版へのアクセスは、ロータリーの友のウェブサイト(www.rotary-no-tomo.jp)からご覧いただくことができます。必要なIDとパスワードは、各クラブの事務局にお尋ねください。

友地区代表委員の任務の一つに、各クラブに『ロータリーの友』への理解を深めていただき、読書率向上と活用促進を呼び掛けることとあります。本来、各クラブを訪問させていただき、『ロータリーの友』購読の啓発をさせて頂ければと思いますが、未だコロナ禍の終息の兆しも感じられず、訪問も憚られるところでもございます。この1年間、『ロータリーの友』への掲載に向け、地区内活動の情報収集などで、各クラブ会員の皆様の御協力を頂くことになると思います。何卒、よろしくお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

7/20火 今市きぬロータリークラブ

会長 金子 博明
幹事 福田 康



7月20日(火)石田ガバナー、野本ガバナー補佐、ガバナー所属クラブの真岡ロータリークラブからも齊藤会長、渡邊幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

11時半からの懇談会では、会員増強や社会奉仕・国際奉仕など多岐にわたり、意見交換やご指導をいただきました。その後、昨年度はコロナの影響で実施できなかった例会にもご出席をいただき、卓話ではシエカル・メータRI会長のメッセージ、石田ガバナーの今年度の方針や考え方を多くの会員が直接お聞きする事が出来ました。

当クラブの今年度の取組目標は、ガバナー意向に沿ったものになっております。重点課題の会員増強では、会員数が数年間27名前後と当面の目標30名に中々届かない

状況となっておりますが、7月、8月に各1名の入会予定者もあり、今年度中には何とか達成したいと考えています。

コロナ感染もまだ先の見えない中、本年度の活動も何かと制限されてしまう状況下ではございますが、ロータリー活動を楽しみ、出来ることを一つ一つ積み上げて行きたいと思っております。

石田ガバナーには、今市きぬロータリークラブにご来訪いただき大変ありがとうございました。

<我がクラブの奉仕事業>

長年、ロータリー財団の地区補助金も活用しながら大谷川左岸の「河津桜整備事業」を行っておりますが、「ロータリー奉仕デー」を意識した新たな活動も模索していきたいと考えております。具体的には、国際観光都市日光ということから環境美化(主要道路のゴミ拾い)等を検討して参ります。本年度は当クラブのみで行い、次年度以降は他クラブや市民にも協力を仰ぎ、継続事業として実施して行ければと思っています。

7/28水 壬生ロータリークラブ

会長 高山 英城
幹事 中山 健



今年度は新型コロナ禍の為、時間を前倒して壬生町城址公園ホール(壬生中央公民館)に石田順一ガバナーをお迎えして、7月28日公式訪問を開催しました。

石田順一ガバナー、片柳均ガバナー補佐、馬場照夫職業奉仕委員長(真岡RC)、田辺幸夫親睦活動委員(真岡RC)、会長、幹事の6名による会議(会長幹事懇談会)が開かれ、クラブの課題『会員増強』では30名程が適正人数ではないかとのご指摘を頂き、「若い会員獲得」、「退会防止」を重点目標に取組んでいけば、より奉仕活動も活発になり5年、10年後のクラブ継続が安泰であろうとご教示いただきました。

その後、ソーシャルディスタンスを配慮した会場での例会が行われ、ビジョン声明を達成するための行動計画についての卓話を頂き、今後5年間の活動を方向づける4

つの優先事項について話されました。

会員増強については、会員を増やすことも大切だが、退会者を出さないこと。また、ロータリー活動の魅力をマスメディアやSNS等を利用して幅広く発信することがさらに重要。併せて、ITの活用 「My Rotaryへの登録」、「クラブセントラルへの目標登録」をクラブとして推進することで活動の活性化が図れるとの御指導をいただきました。

これらのことは、コロナ禍の中、ロータリー活動も急速なオンライン・デジタル化に対応する事が求められている現状に必要なことだと認識いたしました。

また、持続可能な良い変化を生むためには「DEI: Diversity, Equity, Inclusion」多様性、公平性、受容(開放性)が不可欠であり、高潔性というロータリーの価値観に従い、DEIを学び、向上し続けていくことが大切であるということを勉強させていただきました。

石田ガバナーには、早朝よりお越しいただき多くの気づきを頂きました。素晴らしい機会を頂きましたことを、会員一同、心より感謝申し上げます。

7/29(木) 日光ロータリークラブ

会長 三ツ山一明
幹事 赤間 郁雄



7月29日(木)日光金谷ホテルにおいて、石田順一ガバナー、野本晃也ガバナー補佐、ガバナー随員2名をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

11時から開催した会長・幹事会では、石田ガバナーからシェカール・メータRI会長方針の説明を受けました。シェカール・メータ会長が重点目標としている会員増強は、当クラブにとっても重要課題です。当クラブの会員数は21名(女性4名)でここ数年減少傾向にあります。また、会員の高齢化も問題になっています。人口減少が続く日光地区において、会員増強の難しさをお伝えし、その対策としていろいろなア

ドバイスをいただきました。年度末の純増を目指し努力する事をお伝えしました。

各委員会の活動方針、事業計画については、現況報告書に基づき野本ガバナー補佐から石田ガバナーに報告済みですが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、活動に制限がある事、または中止になる事を報告し、承諾を得ました。

例会場の日光金谷ホテルは、現存する西洋式ホテルでは日本一古い歴史あるホテルで、建物・サービス・料理すべてが日本を代表するホテルです。例会では特製のランチ・コース料理を堪能していただきました。

卓話でシェカール・メータRI会長の動画をプロジェクターで拝見しながら、ガバナーからRIの方針を詳しく説明していただきました。メッセージの文章は現況報告書にありますが、RI会長の姿かたちを見ることで、より一層理解を深める事ができました。

当初の予定では、例会とオープンディスカッションの2部構成でしたが、例会時間を延長して、オープンディスカッションと一体の例会としました。終始和やかな雰囲気で行われ、大変有意義な公式訪問でした。

<我がクラブの奉仕事業>

我がクラブの奉仕事業として、「子ども達による日光クリーン大作戦」を紹介します。この事業は「クリーン大作戦」の事業名から、単なるごみ拾いと受け取られがちですが、ごみ拾いを通して子ども達(児童)の健全育成を図る内容盛りだくさんの事業です。

大谷川に架かる神橋周辺自治会の小学3年生から6年生の児童を対象として実施しています。社寺の境内、国道のごみ拾いをするため、児童の交通安全のため、日光警察署に協力をお願いし、署員数名の参加をいただいています。

時期は夏休み中で、朝7時に開始します。各自治会の集合場所に児童、警察署員、当クラブ会員が集合し、道路のごみを拾いながら、神橋に向かいます。神橋に集合後、日光二荒山神社のご厚意により、早朝から神橋を開門していただき、神官の先導で神橋上から男体山を遥拝します。その際、神官から「二礼二拍手一礼」の神社拝礼の作法の手ほどきを受けます。その後、日光金谷ホテルで朝食会を行います。朝食の前に日光警察署員から犯罪予防や夏休み中の安全な過ごし方についての話をさせていただきます。朝食のメニューは、アメリカンブレイクファストです。食事をしながら、ホテルのウェ이터からテーブルマナーの講義を受け、ナイフ、フォーク等の使い方を学びます。朝食後解散になりますが、児童の帰宅は、安全のため会員が児童の家まで送り届けます。集合から解散まで児童の人数確認を数回行い、事故の無い様に注意を払っています。

児童たちがごみ拾いをしながら環境美化の大切さを考えるようになり、神社拝礼の作法に従い男体山を遥拝することで、自然への畏敬の念が育つことを願っています。このような経験が児童の健全な成長に役立つと考えています。

日光は古くは山岳信仰の聖地として栄えた歴史があり、その精神が受け継がれているためか、犯罪の発生件数は大変少ない地域です。特に少年犯罪は、ほとんどありません。これからも犯罪のない安全・安心な地域づくりに貢献できるよう、青少年の健全育成事業に努めてまいります。

「蔵の街とちぎローターアクトクラブ認証伝達式」報告

国際ロータリー第2550地区 地区RAC代表

盛 合 一 功

小暑を過ぎ、夏本番を迎えました。国際ロータリー第2550地区のロータリー関係者におかれましては、暑さに負けずご活躍のことと拝察いたします。

まず、7月25日の蔵の街とちぎ認証状伝達式が無事開催された事をお喜び申し上げます。同じ仲間がこうして一つ増えた事をとても嬉しく思います。また、認証状授与式では、ご招待いただきありがとうございます。コロナ禍ということもあり、準備がとても苦労されたことと思います。新井委員長、関谷代表はじめ、準備に関わった方々に感謝申し上げます。認証状伝達式では、関谷会長から「このようなご時世の中でもやれる事を模索しながら活動していきたい」という意思をお言葉から感じました。是非、このようなご時世だからこそ手を取り合い、協力して活動していきたいと思います。

蔵の街とちぎローターアクトクラブは社会人ベースの地域型クラブです。一方で作新大学ローターアクトクラブは学生ベースの大学型クラブで、宇都宮東・足利東クラブには社会人と学生の両者が混在している状況です。社会人がベースになるとスケジュールの都合や、活動に割ける時間がなかなか苦労すると思います。私は、ローターアクトクラブは一人でも多い方が活動の幅が広がり、様々な業種の人と繋がることができ充実してくると思っています。社会人ベースではありますが、是非学生・社会人問わず、お仲間を増やしながら活動して頂けると活動のやりがい生まれると思います。会員の少なさというのは、栃木のローターアクトにおいて昔からの課題です。私も皆さんもそうだと思いますが、ローターアクトクラブという名前を聞いただけでは何をしている団体なのか分からず、不審がられることもあります。何でもできるというのは一つの特徴ではありますが、それは真っ白なポスターのように何も伝わらず、側から見た時、何をやってるかよく分からないと思われます。つまり、何でもできるというのは強みでありながらも、存在の特徴をぼかしてしまうのです。会員を増やすためには、誘うだけではダメです。何か魅力を感じてもらい、やってみたいと思わせる工夫が必要です。私は、活動に憧れて、賛同して仲間が増えていくことが理想だと思います。蔵の街とちぎローターアクトクラブは何をやっている団体ですか？この答えを見つけられるように、足元を見つめ、将来を考え、活動の軸をつくって下さい。学生ベースだと「継承」というプロセスでしか活動の軸をつくれません。社会人ベースであれば数年かけて活動の軸を「構築」できると思います。皆さんらしいご活躍を期待しております。

最後にはなりますが、私から見るローターアクトについて現状をお伝えしたいと思います。栃木2550地区には4つのローターアクトクラブが存在します。しかし、それらのクラブは吹けば飛ぶほどの弱い団体と私は捉えています。毎年、後継者がなかなか決まらず、何年も同じ代表が継続し、クラブについて知っているのがごく一部の会長幹事に留まっています。会長幹事には責任とタスクが集まり、本来持っていた意思が消えそうになる程、負荷がかかります。ローターアクトクラブは仕事と違い、お金が稼げません。時間をかける必要性を疑う時も度々あります。ここで得られるのは、経験です。それが求める経験なのか、与えられる経験なのか、やらされる経験なのか、人によって、考え方によって変わっています。ローターアクトに入りたいと主体的に声をかけ、入会した人は一体どれだけいるでしょうか。能動的な意思のない人が集まっても出来ることは大したことありません。これはこの団体の大きな問題と捉えるべきです。これまでは、養殖によって存在してきましたが、果たしてそれがローターアクトの本質なのでしょうか。法律ばかりが決まっている養殖場のような現状がいつまで続くのでしょうか。

状況を変えることは難しいと思います。しかし、変えられるとするのであれば、魅力的な活動をして行くことに限ります。軸を持ち、その軸に憧れを持ってもらえるようなローターアクトで得られる「体験」が私たちローターアクト一人一人が望む「経験」になる事を私は望みます。やりたい事をやって、得難い経験を得て、自分の理想に向かって成長していけるような人が集まる団体を望みます。

希望あふれる蔵の街とちぎローターアクトクラブの未来に笑顔と成長が溢れている事を願って、認証状伝達式のご報告とさせていただきます。暑さや感染症対策にお気を付けください。国際ロータリー第2550地区の皆様のご健康をお祈り申し上げます。



認証状伝達式を終えて

蔵の街とちぎローターアクトクラブ 会長 関谷 暢

7月25日に晴れて「蔵の街とちぎローターアクトクラブ」の認証状伝達式が執り行われました。当日はマスクをするのが苦しいくらい大変暑い中、また、コロナウイルス感染拡大防止の観点から落ち着いた雰囲気のととなりましたが、多くの皆様にご参列いただけたこと、そして皆様からいただきましたお祝いの言葉にクラブ会員一同感謝の念が尽きぬ思いでございます。

本クラブは5つのロータークラブのご協力を賜り設立に至りました。栃木、栃木西、岩舟、壬生、栃木南の各ロータークラブの皆様改めて感謝申し上げます。

私たちは2019年4月24日に初期のメンバーが初めて集まり、蔵の街とちぎローターアクトクラブの前身が発足しました。その当時はそもそもローターとは何なのか、ローターとローターアクトの違いもよく分からず、各々が所属する会社のロータリアンである上司に言われるがまま参加していました。少しずつ例会を行い、奉仕活動を開始し始めた時に「COVID-19」新型コロナウイルスの感染が全世界で巻き起こり思うように活動が出来なくなりました。しかし、懇親会にてご挨拶いただいた盛合様の言葉にもありましたように、このような状況もチャンスに変えるように努力し、ZOOM例会の実施や限られた時間、色々な制約の中で行えるローターアクト活動を模索していきたいと思っております。また、認証状伝達式でのご祝辞やご支援をいただいているロータークラブの代表者の皆様からの懇親会でのお言葉では、どんどんクラブ会員を増やして活発に活動を行って欲しいという熱意や、そのための協力は惜しまないという暖かい心遣いをいただきました。その思いをしっかりと受け止めて蔵の街とちぎローターアクトクラブの運営および活動に邁進していきたい所存であります。

末筆ながら今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

7月会員数報告

	クラブ名	例会数	会 員 数								
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員	40歳未満
第1グループ	大田原	3	29	29	0	0	0	0	0	1	0
	黒磯	3	36	37	1	0	1	0	1	2	1
	西那須野	2	47	47	1	1	1	1	0	2	0
	黒羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	2	24	24	0	0	0	0	0	1	2
第2グループ	鳥山	3	17	16	0	1	0	1	-1	2	0
	氏家	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	矢板	4	10	10	0	0	0	0	0	1	0
	馬頭小川	4	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	高根沢	1	15	15	0	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	4	101	102	1	0	1	0	1	2	1
	宇都宮西	3	75	75	0	0	0	0	0	0	1
	宇都宮北	4	43	44	1	0	1	0	1	0	0
	宇都宮90 (宇都宮90結・衛星)	2	6	6	0	0	0	0	0	4	2
	宇都宮陽北	4	46	46	0	0	0	0	0	9	8
第3グループB	宇都宮東	4	112	112	0	0	0	0	0	0	3
	宇都宮南	4	54	55	1	0	1	0	1	6	0
	宇都宮陽東	3	49	49	0	0	0	0	0	8	1
	宇都宮陽南	4	24	24	0	0	0	0	0	7	4
	宇都宮さつき	2	25	25	0	0	0	0	0	4	4
第4グループ	真岡	3	57	57	0	0	0	0	0	0	0
	益子	4	28	28	0	0	0	0	0	2	1
	真岡西	2	35	36	2	1	2	1	1	5	0
	しもつけ	3	20	20	0	0	0	0	0	4	1

	クラブ名	例会数	会 員 数								
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員	40歳未満
第5グループ	小山	4	22	22	1	1	1	1	0	1	0
	小山南	4	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	小山東	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	小山东	4	24	24	0	0	0	0	0	0	4
	小山中	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6グループ	栃木	4	46	49	3	0	3	0	3	5	0
	栃木西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩舟	3	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	壬生	4	20	20	0	0	0	0	0	2	0
	栃木南	3	36	36	0	0	0	0	0	6	1
第7グループ	日光	3	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿沼	4	62	62	0	0	0	0	0	2	4
	今市	3	41	42	1	0	1	0	1	1	0
	鹿沼東	4	37	37	0	0	0	0	0	5	0
	鹿沼中央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0
第8グループ	今市きぬ	4	27	28	1	0	1	0	1	0	0
	足利	2	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	足利東	3	34	34	0	0	0	0	0	4	0
	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足利わたらせ	2	35	35	0	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	2	55	55	0	0	0	0	0	0	0
	葛生	3	39	38	1	2	1	2	-1	0	0
	田沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0
	佐野東	2	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	4 8 R C		1668	1676	14	6	14	6	8	106	40

(メイクアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)

新入会員紹介



初山 亮二
足利わたらせRC
2021年7月1日入会
有限会社初山染工
代表取締役

よろしくお願い致します。



小池 一郎
宇都宮西RC
2021年8月5日入会
プライトウィル・アドバイザー
株式会社 代表取締役

地方銀行を定年後起業しました。地域のお役に立てるよう取り組んで参ります。



下野 洋司
小山RC
2021年7月1日入会
株式会社葛工務店
代表取締役社長

よろしくお願い致します。



国府田厚志
真岡RC
2021年7月17日入会
はが野農業協同組合
代表理事組合長

活動を通して奉仕精神を磨き、農業協同組合として地域に貢献したい。



平船 徳章
真岡RC
2021年6月30日入会
株式会社栃木銀行
真岡支店 支店長

地元金融機関として、地域発展に貢献していきます。宜しくお願い致します。



福田 明宏
壬生RC
2021年7月2日入会
株式会社足利銀行
おもちゃのまち支店 支店長

皆様との親睦を深め、奉仕活動に尽力して参りますので、よろしくお願い致します。



栗原 勇
壬生RC
2021年7月2日入会
栗原勇税理士事務所
所長

よろしくお願い致します。



財田 忠典
栃木RC
2021年7月5日入会
株式会社ヤオハン
代表取締役社長

一年間退会しましたが再入会させて頂きます。更に地域に貢献致します。



増山 享子
栃木RC
2021年7月7日入会
有限会社栃の木不動産
代表取締役

よろしくお願い致します。



上野 和昭
栃木RC
2021年7月21日入会
株式会社栃木銀行
栃木支店 支店長

3回目のロータリー入会となりますが、よろしくお願い致します。

入会おめでとうございます

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	曜日	場 所	担 当
8	28~29	土~日	22-23年度派遣学生 宿泊オリエンテーション	ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会
9	11	土	ローターアクトクラブ地区研修会	足利市生涯学習センター	地区ローターアクトクラブ
10	22	金	地区大会記念ゴルフ大会	益子カントリー	ホスト:真岡RC
10	23	土	2021-22地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	フォーシーズン静風	〃
10	24	日	2021-22地区大会 本会議	市民"いちご"ホール	〃
11	7	日	米山カウンセラー研修会		地区米山記念奨学会委員会
11	20~22	土~月	RYLAセミナー		
11	27	土	米山面接官オリエンテーション		地区米山記念奨学会委員会
11	27	土	地区ローターアクトクラブ年次大会	ホテルニューイタヤ	地区ローターアクトクラブ
12	12	日	2022学年度米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	12	日	20-21年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
12	19	日	第2回諮問委員会 ガバナーエレクト仕行会		ガバナー事務所

熱海豪雨災害支援金送金報告

熱海豪雨災害(2021年7月)支援金送金報告

平素より地区運営にご理解とご協力を賜り有難うございます。

過日、皆様に標記の支援金をお願い致しましたところ、39クラブより1,600,000円のご寄付が集まりました。

国際ロータリー第2620地区熱海豪雨災害支援本部に8月4日、送金させて頂きました。

被災地の方々の一日も早い復興を祈念しますとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。

有難うございました。

国際ロータリー 第2550地区 ガバナー 石田 順一

米山記念奨学会およびロータリー財団功労者

米山功労者 ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。(2021年3月～6月)

滝田 有彦	宇都宮西	2回	阿部 欣文	宇都宮	3回	秋山 康雄	真岡西	1回
車田 孝夫	黒羽	9回	印出井敏英	宇都宮	5回	小森 則征	真岡西	1回
篠崎 博司	佐野	37回	坂寄 修一	宇都宮西	7回	細島 鉄夫	真岡西	1回
藤波 一博	佐野	3回	金澤 正英	宇都宮東	1回	廣川 正人	真岡西	1回
河邊 勝実	佐野	6回	古矢 幸伸	宇都宮陽北	1回	福本 光夫	西那須野	7回
木内 裕祐	宇都宮西	6回	滝口 貴史	烏山	1回	高橋 智純	西那須野	8回
芝口 久雄	佐野東	6回	福田 長弘	烏山	1回	堀越 元樹	栃木西	1回
和氣 幸雄	宇都宮	1回	東原 民範	烏山	4回	森 玄房	宇都宮西	21回
矢治 和之	宇都宮	1回	磯野信次郎	佐野	19回	濱崎 崇	宇都宮西	1回
町田 卓大	宇都宮	2回	長 光博	小山北	2回			

米山功労クラブ

佐野東 18回 宇都宮 48回 宇都宮西 47回 益子 23回

ポール・ハリス・フェロー

松本 淳子	小山中央	福田 長弘	烏山	松崎 武代	栃木西
稲葉 操	小山南	滝口 貴史	烏山	伊原 修	宇都宮
高田 良久	栃木西	針谷 哲也	栃木西	和田 均	宇都宮

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

近藤 隆彦	足利西	3回	押山 利男	栃木西	3回	河邊 勝実	佐野	5回
坂本 瞭	黒羽	2回	早乙女雅彦	栃木西	3回	関口 隆	宇都宮南	2回
石川 陽二	小山北	1回	若菜 秀夫	栃木西	5回	岩原 正樹	宇都宮西	2回
倉井 洋治	小山北	1回	萩原 宣子	烏山	2回	佐藤 節	宇都宮陽北	6回
知久 静江	小山南	1回	堀江 竜也	烏山	2回	岡崎 善胤	宇都宮	1回
瀬野 公男	小山南	3回	川永 作衛	大田原	3回	印出井敏英	宇都宮	2回
神山 宜久	小山南	4回	松村 一夫	佐野	1回	喜谷 辰夫	宇都宮	2回



1. 熱海市土石流災害義援金 — 台湾米山学友会 —

7月に発生した熱海市土石流災害への義援金として、台湾米山学友会が385,000台湾ドル（日本円で150万3,906円）を寄付してくださいました。

この義援金は、日本政府が台湾へ提供したワクチンへの感謝の気持ちを込めて、熱海の被災者に役立てて欲しいと学友たちが出し合ったもの。7月29日に台湾からいったん当会へ送金され、8月2日付で当会から国際ロータリー第2620地区の災害支援本部の口座へ振り込みました。また、これとは別に、複数の米山学友が会員として所属する台中文心RCからも、日本の相模原中

RCを通じて同災害への義援金を送金したとのこと。台湾米山学友から届く温かな支援に心から感謝を申し上げます。



2. 2022 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563校（前年度576校）。指定校からの被推薦者数は1,804人（同1,894人）で、この中から新規奨学生約600人が選ばれます。今回、初指定校は19校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、12

地区（同13地区）32校（同32校）となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月6日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。

3. 寄付金速報 — 2021-22 年度のスタート —

2021-22年度の最初の月となる7月の寄付金は約2億1,000万円でした。前年度と比べて約7.02%減（普通寄付金：4.09%減、特別寄付金：13.9%減）、約1,600万円の減額となりました。

過去には2億円に満たなかった年度もあった中、このコロナ禍にも関わらず、ロータリアン

の皆さまから多額のご寄付をいただきまして誠にありがとうございました。米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇る「ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト」です。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

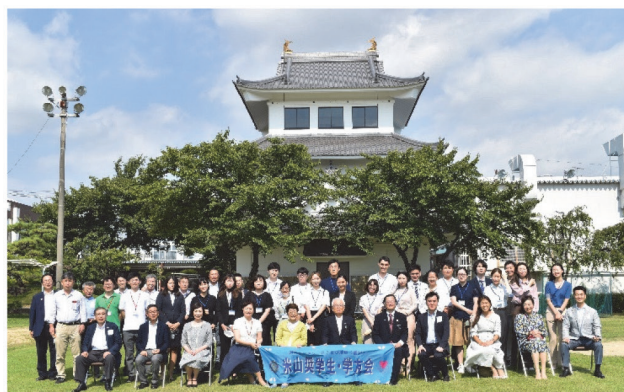
4. 2年ぶりの企業見学会 — 第2760地区 —



第2760地区（愛知県）の米山奨学委員会では7月22日、地区内企業への見学会を2年ぶりに実施し、今年度奨学生と学友が参加しました。

地区米山記念奨学委員長の大橋均氏によると、この企業見学会は同地区恒例行事の一つ。昨年は中止となり、今年も直前まで開催を迷いな

がらも、受け入れ企業側の協力を得て、午前3班、午後3班と計6班に分かれて工場や記念館、ショールームなどの構内施設見学を行ったということです。「米山奨学生たちが目を輝かせて喜ぶ姿を見ると、やって良かった」と、大橋委員長は語りました。



5. オンラインで奨学生体験発表会 — 第2530地区 —

第2530地区（福島県）米山学友会が主催する「奨学生体験発表会」が7月31日、オンラインで開催され、奨学生と学友、ロータリアンら総勢約90人が参加しました。

当日は、志賀利彦ガバナー、武島昭良米山

奨学委員長、チンタカ・クマール同地区学友会会長、当会柚木裕子事務局長の挨拶につづき、奨学生がそれぞれ「奨学生生活を通じて身に付いたもの」、「日本人はなぜ麺をすすって食べるのか?」、「人工知能の現在と未来」

など思い思いのテーマで発表。学友からは自身の近況報告もあり、参加したロータリアンは興味深く耳を傾けました。

チンタカ会長は「今回は2年ぶりに、オンラインではありましたが、開催できて良かったと思います。いずれまた以前のように集まって、奨学生・学友が母国料理を作り、ロータリアンたちにふるまいながら交流の時間を過ごせるようになれば」と、話しました。



第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」開催決定!

日程：2023年8月5・6日 ※2年後です／場所：茨城県つくば市／主催：関東10学友会
詳細が決まり次第、当会ホームページでお知らせしてまいります

2024-25年度 ガバナー候補者推薦について

ガバナー 石田 順一

ガバナー指名委員会委員長 川嶋 幸雄

国際ロータリー細則第 12 条ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで 2024-25 年度ガバナー候補者を推薦することができます。2021 年 10 月 31 日までにガバナー指名委員会委員長宛、文書にて（書式任意）提出して下さい。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第 16 条 16.010 ガバナーノミニーの資格条件及び 16.020 ガバナーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニーの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第 12 条 12.030.4 における規定に基づき地区内クラブによって推薦された氏名に限定されるものではありません。ご了承ください。



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

ベルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>